

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2025年												2026年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ～11日	1月 ～18日	1月 ～25日
カンピロバクター	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	18	8	6	5
病原性大腸菌	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	52	11	17	12
腸管出血性大腸菌	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	0	2	0
サルモネラ	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	12	3	6	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	13	4	2	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0
ノロウイルス	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	1	1	4	2

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和8年第4週(1月19日～1月25日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類 別	報告数	疾 患 名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一 類	0	発生なし	0							
二 類	6	結核	6		2	1	1		2	
三 類	9	腸管出血性大腸菌感染症	9			1		8		
四 類	1	レジオネラ症	1						1	
五 類	4	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		梅毒	1					1		
		百日咳	2	1						1

(注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

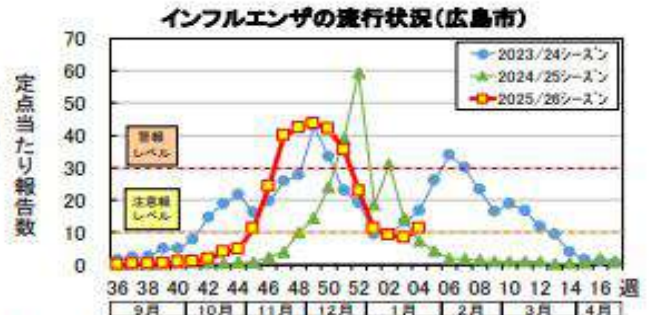
令和 8年4週(1月19日～1月25日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり11.26人の報告がありました。減少傾向でしたが再び増加しており注意が必要です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が22件報告されています。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第4週 A型:35人、B型:40人



2 感染性胃腸炎

定点当たり7.95人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加します。ノロウイルスは、感染者の便や吐物に多く含まれ、飛沫や人の手などを介して経口感染します。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.52人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、苺舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

4 腸管出血性大腸菌感染症

8件の報告があり、今年の累計は13件となりました。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2557	75.21				小児科	突発性発しん	2	0.10	0.17		
	インフルエンザ	383	11.26	7.74				ヘルパンギーナ	-	-	0.13		
	新型コロナウイルス(COVID-19)	19	0.56					流行性耳下腺炎	-	-	0.04		
小児科	RSウイルス感染症	13	0.62	0.22			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	咽頭結膜熱	4	0.19	0.67				流行性角結膜炎	1	0.13	0.50		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.52	1.38			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	167	7.95	7.77				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	水痘	9	0.43	0.18				マイコプラズマ肺炎	3	0.50	0.37		
	手足口病	-	-	0.21				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.04				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.17	0.03		

急増減 ↑ 前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減 ↑ 前週と比較しておおむね1.15～2の増減

微増減 ↑ 前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減

横ばい → ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	8	13	10歳未満・O103・1人、10歳代・O6・市外・1人、10歳代・O157・1人、20歳代・O157・3人、30歳代・O157・1人、50歳代・O血清群不明・1人
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	50歳代
5	梅毒	1	3	20歳代